

## 令和元年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者が決定！ ～国土交通省関係では、3個人及び22団体が受賞～

令和元年防災功労者内閣総理大臣表彰<sup>※</sup>の受賞者（5個人、84団体）を内閣府において、決定しました。このうち国土交通省関係は、土砂災害防止活動、豪雨災害に対する水防活動、緊急災害対策活動（TEC-FORCEによる被災自治体支援活動）に著しい功績があったとして、3個人及び22団体が表彰されることになりました。

なお、表彰式の日程等については、内閣府から別途発表があります。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として行われるものです。

### 国土交通省関係の受賞者（3個人及び22団体）

#### （1）土砂災害防止活動関係・・・1個人及び1団体

##### [防災体制の整備]

- ・ 国立大学法人 東京大学 名誉教授  
すずき まさかず  
鈴木 雅一<京都府>
- ・ 那智勝浦町教育委員会 <和歌山県>

#### （2）水防活動関係・・・2個人及び17団体

##### [防災体制の整備]

- ・ 関東学院大学 名誉教授  
みやむら ただし  
宮村 忠 <東京都>

##### [防災思想の普及]

- ・ 株式会社東北通信メンテナンス（水防専門家）  
すずき りゅうぞう  
鈴木 隆三 <福島県>

[災害現場での顕著な防災活動]

(平成30年7月豪雨)

- ・ ふくちやまし 福知山市消防団 <京都府>
- ・ まいづるし 舞鶴市消防団長連絡協議会 <京都府>
- ・ みまさかし 美作市消防団 <岡山県>
- ・ ぐじょうし 郡上市消防団 <岐阜県>
- ・ ぎふし 岐阜市水防協会 <岐阜県>
- ・ かめおかし 亀岡市消防団 <京都府>
- ・ とつとりし 鳥取市消防団 <鳥取県>
- ・ ひだし 飛騨市消防団 <岐阜県>
- ・ うちこちょう 内子町消防団 <愛媛県>
- ・ せきし 関市消防団 <岐阜県>
- ・ げろし 下呂市消防団 <岐阜県>
- ・ ひろしましあさきた 広島市安佐北消防団 <広島県>
- ・ ひろしましあき 広島市安芸消防団 <広島県>
- ・ くれし 呉市消防団 <広島県>
- ・ ふくやまし 福山市消防団 <広島県>
- ・ おおずし 大洲市消防団 <愛媛県>
- ・ せいよし 西予市消防団 <愛媛県>

(3) 緊急災害対策活動関係(TEC-FORCEによる被災自治体支援活動)・・・4団体

[災害現場での顕著な防災活動]

(平成30年7月豪雨及び平成30年北海道胆振東部地震)

- ・ 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE) <国土交通省>
- ・ 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE) <国立研究開発法人土木研究所>

(平成30年北海道胆振東部地震)

- ・ 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE) <国立研究開発法人建築研究所>
- ・ 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)

<国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所>

【問い合わせ先】国土交通省 水管理・国土保全局 代表 03-5253-8111

(1) 土砂災害防止活動関係 直通 03-5253-8466, Fax03-5253-1610

砂防部 砂防計画課 寺岡、長崎 (内線 36122, 36165)

(2) 水防活動関係 直通 03-5253-8460, Fax03-5253-1603

河川環境課 水防企画室 坂本、富沢 (内線 35452, 35458)

(3) 緊急災害対策活動関係 (TEC-FORCE 関係)

直通 03-5253-8461, Fax03-5253-1608

防災課 災害対策室 菊池、高田 (内線 35822, 35824)

# 功 績 概 要

## (1) 土砂災害防止活動関係

### 個人〔防災体制の整備〕

氏 名	すずき まさかず 鈴木 雅一
職 業	国立大学法人東京大学名誉教授
功績の概要	<p>同氏は、砂防学及び森林水文学に多数の研究業績を上げてこられた。特に、土砂災害発生に関する降雨指標の研究の草分け的な存在であり、タンクモデル、実効雨量を用いた土砂災害発生の危険雨量や、がけ崩れ発生と降雨の関係に関する研究成果は、土砂災害警戒避難の指標検討に活用され、発表後30年以上経過した現在でも多くの研究論文に引用されている。</p> <p>また、国土交通省が設置した「土砂災害対策懇談会」や「河川砂防技術基準検討委員会」の委員を務められたほか、平成25年10月に伊豆大島で発生した土砂災害では、東京都が設置した「伊豆大島土砂災害対策検討委員会」や「伊豆大島火山砂防基本計画検討委員会」の委員長を務められ、多くの技術的な助言やとりまとめを行った。</p> <p>学術関係では、砂防学会会長等の要職を歴任され、「深層崩壊」を初めて定義し、その対応策等について砂防学会として提言を行うなど、その評価は極めて高い。</p> <p>このように、同氏は砂防に関する学術研究に献身するとともに、その成果を踏まえ砂防行政へ有用な提言を行うなど、防災体制の整備に多大な貢献をしてきた。</p>

### 団体〔防災体制の整備〕

名 称	那智勝浦町教育委員会
所在地	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
代表者	教育長 岡田 秀洋
功績の概要	<p>同委員会は、平成13年8月の台風11号による豪雨災害を教訓に、平成14年より町内の小学校1校を皮切りに防災学習を開始した。その後、平成17年以降は、有識者を講師とした町民向けの防災講習会を開始した。さらに、甚大な被害をもたらした平成23年の紀伊半島大水害後には防災教育の体制を強化し、町内の各小中学校で防災学習を実施するなど、同委員会が中心となり、内容の充実を図り、町内の防災教育を推進している。</p> <p>また、平成23年の紀伊半島大水害後、災害対応の貴重な経験や被災体験者の体験談等を取りまとめた記録誌、啓発映像（大人向け、子供向け）を順次制作し、町内で開催されるイベントで公開・上映し、防災学習などに毎年活用している。なお、和歌山県が設置した土砂災害啓発センターでは、これらの資料を活用し、地域住民や県内外の児童・生徒の防災学習、観光客への災害実態の普及啓発を行っている。</p> <p>このように、同委員会は外部有識者を講師とした防災講習会、児童・生徒・一般住民を対象とした防災学習会を積極的に開催し、地域の防災力向上に大きく貢献してきた。</p>

## (2) 水防活動関係

### 個人 [防災体制の整備]

氏名	みやむら ただし 宮村 忠
職業	関東学院大学名誉教授
功績の概要	平成4年から平成29年までの26年間、通算18回にわたり、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県にて開催された利根川水系連合・総合水防演習において、解説者として河川、流域の特性や水害の歴史及び水防工法の解説を行うとともに、住民を対象とした防災講演会において、水防の重要性を含む地域防災の意識の浸透に資する講演を行い、水防技術の向上、伝承、普及に多大な貢献をした。

### 個人 [防災思想の普及]

氏名	すずき りゅうぞう 鈴木 隆三
職業	株式会社東北通信メンテナンス
功績の概要	平成7年以降、水防工法指導員として、また、平成27年以降は水防専門家として、23年間にわたり、福島県を中心に毎年実施される阿賀川の水防演習、福島県水防訓練において水防工法の指導を行うとともに、水防団に対し水防工法の指導を行っている。これまで指導を行った団体は延べ150団体を数え、水防技術の向上、伝承、普及に多大な貢献をした。

### 団体 [災害現場での顕著な防災活動]

(平成30年7月豪雨)

名称	福知山市消防団
所在地	京都府福知山市
代表者	団長 池澤 徹
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から7日にかけて、延べ1,681名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名称	舞鶴市消防団長連絡協議会
所在地	京都府舞鶴市
代表者	会長 瀬野 和美
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月4日から10日にかけて、延べ726名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	美作市消防団
所在地	岡山県美作市
代表者	団長 永井 秀一
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から7日にかけて、延べ2,009名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民8名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	郡上市消防団
所在地	岐阜県郡上市
代表者	団長 山田 悟
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年6月29日から7月15日にかけて、延べ3,530名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	岐阜市水防協会
所在地	岐阜県岐阜市
代表者	会長 戸本 敏夫
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から9日にかけて、延べ2,020名が月の輪工、シート張り工及び釜段工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、陸開閉鎖を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	亀岡市消防団
所在地	京都府亀岡市
代表者	団長 中井 和寿
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から8日にかけて、延べ1,062名が土のう積み工、シート張り工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	鳥取市消防団
所在地	鳥取県鳥取市
代表者	団長 相良 正人
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から8日にかけて、延べ1,423名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	飛驒市消防団
所在地	岐阜県飛驒市
代表者	団長 蒲 義博
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から8日にかけて、延べ1,336名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	内子町消防団
所在地	愛媛県喜多郡内子町
代表者	団長 篠崎 耕太郎
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月6日から7日にかけて、延べ1,046名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	関市消防団
所在地	岐阜県関市
代表者	団長 多田 壽夫
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から16日にかけて、延べ1,686名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民7名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	下呂市消防団
所在地	岐阜県下呂市
代表者	団長 無笹 聡
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年6月29日から7月8日にかけて、延べ1,757名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	広島市安佐北消防団
所在地	広島県広島市安佐北区
代表者	団長 小田 重男
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から7日にかけて、延べ726名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民24名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	広島市安芸消防団
所在地	広島県安芸郡海田町
代表者	団長 小鷹狩 修
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月6日から8日にかけて、延べ302名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導、住民1名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	呉市消防団
所在地	広島県呉市
代表者	団長 上瀬 雅晴
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月6日から9月30日にかけて、延べ917名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民約100名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	福山市消防団
所在地	広島県福山市
代表者	団長 延近 敬弘
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月6日から12日にかけて、延べ6,855名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民42名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	大洲市消防団
所在地	愛媛県大洲市
代表者	団長 矢野 正祥
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月6日から7日にかけて、延べ1,385名が月の輪工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、樋門操作、住民の避難誘導、住民380名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	西予市消防団
所在地	愛媛県西予市
代表者	団長 廣瀬 吉孝
功績の概要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月6日から7日にかけて、延べ1,557名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導、住民47名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

### (3) 緊急災害対策活動関係

#### 団体〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成30年7月豪雨及び平成30年北海道胆振東部地震)

名 称	国土交通省緊急災害対策派遣隊
所在地	東京都千代田区霞が関
代表者	隊長 神宮 祥司
功績の概要	<p>平成30年7月豪雨に際し、自治体所管施設の被災状況調査を実施し、激甚災害指定の見込み公表の早期化に貢献するとともに、通行止め箇所の道路啓開や応急復旧、浸水解消に向けた排水作業、流出土砂等の撤去など全力で地方公共団体への支援を実施した。</p> <p>また、平成30年北海道胆振東部地震に際し、自治体所管施設の被災状況調査を実施し、激甚災害指定の見込み公表の早期化に貢献するとともに、厚真川の河道閉塞箇所の緊急土砂撤去や土砂災害危険箇所の緊急点検、道路陥没や土砂崩落等によって通行不能となった道路啓開や応急復旧、被災建物の応急危険度判定など、全力で被災自治体を支援した。</p> <p>国土交通省緊急災害対策派遣隊は、自治体所管施設の被害状況調査等を実施し、その活動は、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることにつながった。</p>

名 称	国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	茨城県つくば市
代表者	隊長 石井 靖雄
功績の概要	<p>国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊は、平成30年7月豪雨、同年北海道胆振東部地震に対応するために、発災直後から専門家を派遣し、土砂崩れの発生源調査および二次災害防止に係る高度な技術指導を実施した。その活動は、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることにつながった。</p>

(平成30年北海道胆振東部地震)

名 称	国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	茨城県つくば市
代表者	隊長 槌本 敬大
功績の概要	<p>国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊は、建築物を中心とした被害状況を把握し必要な対策等に活かすため、国土技術政策総合研究所と合同で高度な知見を有する専門家を派遣し、木造建築物、鉄筋コンクリート造等建築物、地盤について調査を実施した。</p> <p>現地調査を受けて、平成30年北海道胆振東部地震の特性や倒壊・大きな変形を生じた建築物の特徴などを取りまとめた調査報告を迅速に公表したほか、むかわ町役場庁舎の被災箇所について、安全対策に係る助言をするなど、自治体における早期の復旧・復興に関する計画策定や対策工法の検討に資する技術的支援を実施するなど地域の防災力向上や迅速な復興に大きく貢献した。</p>

名 称	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	神奈川県横須賀市
代表者	隊長 栗山 善昭
功績の概要	<p>国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所の緊急災害対策派遣隊は、地震発生翌日の平成30年9月7日早朝に苫小牧港へ派遣された。</p> <p>これは、1995年兵庫県南部地震の際の神戸港の液状化被害をはじめ、国内外での災害調査の経験を有し、大型模型実験による被害メカニズムの解明や対策工法の開発などの研究実績、復旧工事への助言を行ってきた豊富な経験、知見を基に、苫小牧港の港湾施設の点検・被災調査、被災施設の復旧等に関する高度な技術指導を実施したものである。</p> <p>特に、液状化による広域の噴砂・陥没・沈下・隆起メカニズムを明らかにすると共に、同調査結果に基づき今後の復旧対策・管理指針を速やかに提示した功績は大きい。</p> <p>従って、その活動は、苫小牧港国際コンテナターミナルの早期復旧に大きく貢献した。</p>